



この道は、もう何回行き来したのだろうか。上高地へ帰って
来れなかった後輩を思いながら行く。ジャンの飛騨尾根に消えたK君。
屏風ノ頭に眠るY君。遠い日が蘇って切ない。傍らの岩場に
差し込んだ光は、遠い彼方から届いてきたように思えた。